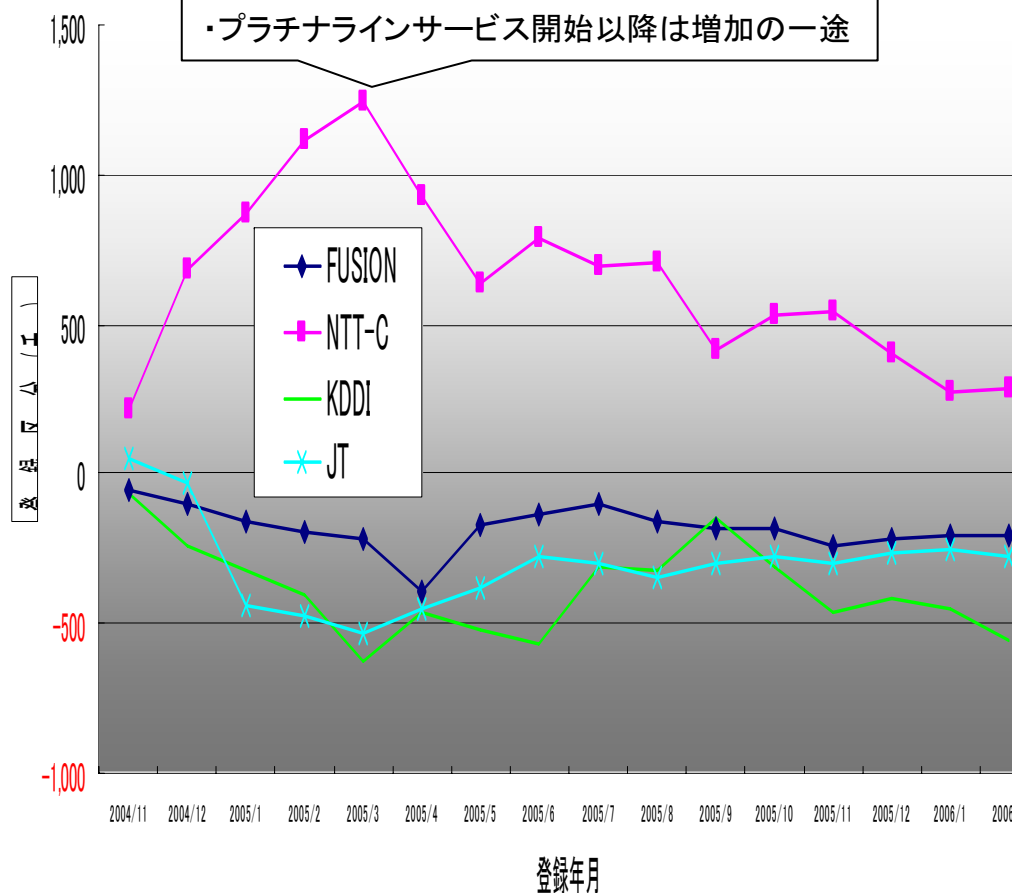


マイラン電話サービス

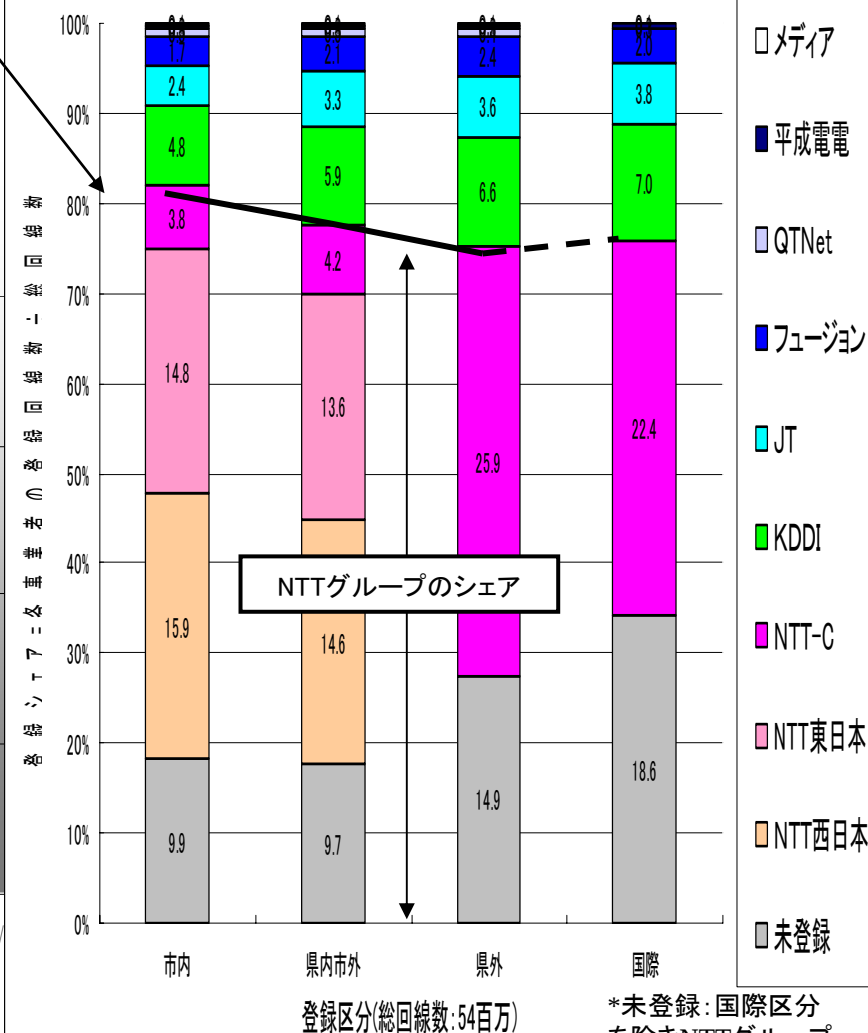
・NTTグループシェア(登録済の区分数): 70.3%
 =NTT東: 17.3%+NTT西: 18.6%+NTT-C: 34.4%
 未登録者も含めると市内区分は80%を超える。

マイラン登録状況(中継系4社: 全区分の増減)

・プラチナラインサービス開始以降は増加の一途



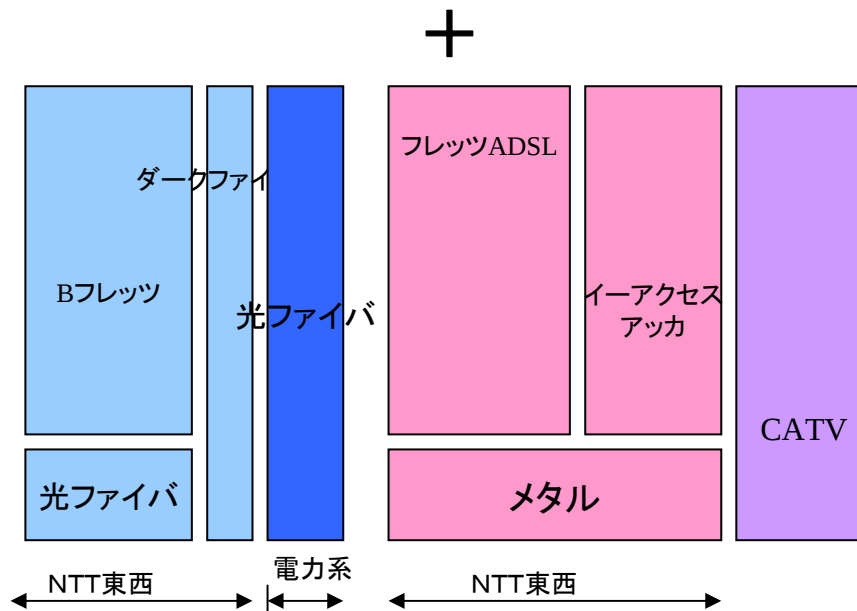
マイラン登録回線数累計(2006年2月) グラフ上の数値 単位: 百万回線



050IP電話サービス

・音声品質クラス B, C

050IP電話サービス ISPの主なアプリケーション



- ・利用数: 1,060万番号 (2005/12末)
- ・指定状況: 1,806万番号
ソフトバンクBB: 45%、NTTコミュニケーションズ: 23%、
KDDI: 14%、ぷらら: 6%、フュージョン: 4%、
日本テレコム: 2%、NTT-ME 2%

- ・NTT東西のフレッツADSL、Bフレッツとの接続は、NTT東西に各1箇所又は各都道府県単位で接続可能。
- ・よって、設備投資も少なく、自ら接続して050IP電話の提供をしている事業者数は**28社**、他に接続事業者から卸受をしている事業者は**25社**ある。 → **合計53社**

050IP電話サービスの下位レイヤとして、FTTH(ダークファイバ、Bフレッツ)ADSL、CATV等が存在する。

- ・ADSL契約回線数事業者別構成
ソフトバンクBB: 35%、NTT東日本: 20.6%、
NTT西日本: 16.9%、イーアクセス: 13.7%、
アッカネットワークス: 9.6% の**5社で96%**

OAB-J IP電話サービス

・音声品質クラス A (+ 緊急通報110,118,119が利用可)

OAB-J IP電話サービス

FTTHのキラーアプリケーションとして
既存電話を代替える位置づけ

+

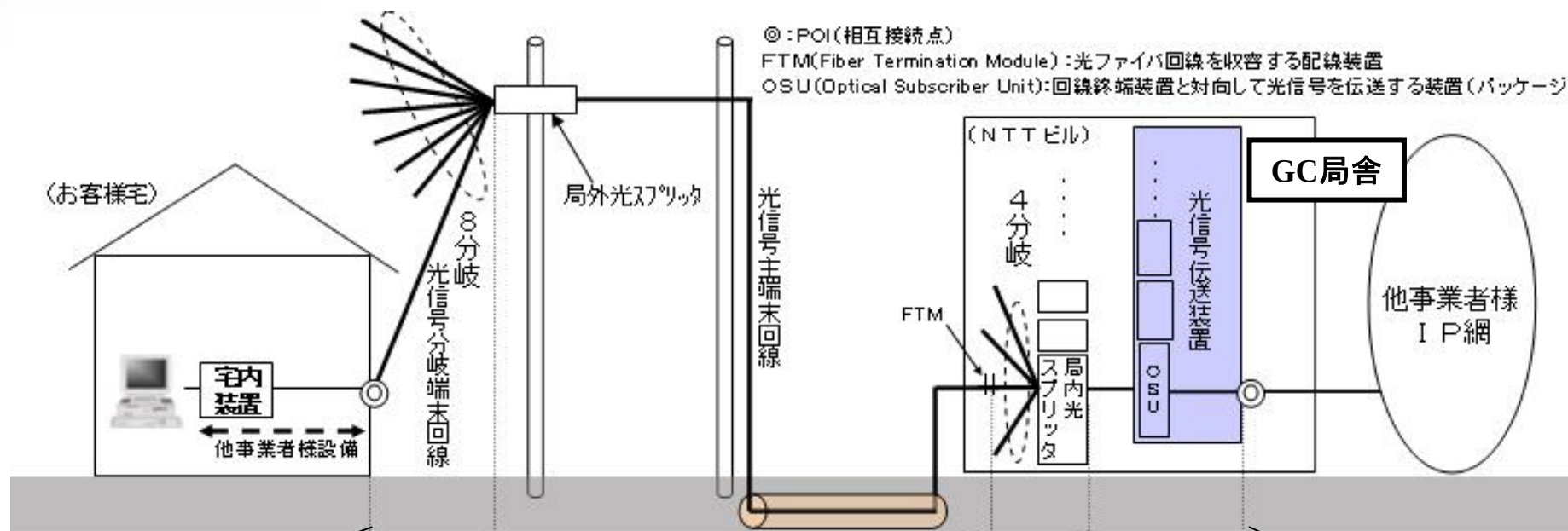


- ・OAB-J IP電話番号利用数
51万番号(2005/9末)
- ・主な提供事業者
NTT東西、KDDI、K-opt、ソフトバンクグループ
フュージョン等数社
*NTT東西はFTTHのキラーアプリケーションとして再販は
行っていない。

- ・NTT東西との接続先は、通話品質Aを保証するため
各GC局まで伝送路を構築し、かつGC局舎ではNTT
東西のダークファイバ又はシェアアクセスを利用する
必要があり、多大な設備投資を必要とする。
*せめて、都道府県単位での低レイヤ接続を要望。
- ・電力系NCCは地域限定で参入している。

- ・ FTTH契約回線数(2005/9末) 4,637千回線
- ・FTTH契約回線数事業者別構成(2004/12末)
OAB-J IP電話のベースとなるFTTH243万回線の内訳
NTT東日本:31%、NTT西日本28%、電力系:15%、USEN10%、CATV・その他17%

シェアドアアクセス方式について

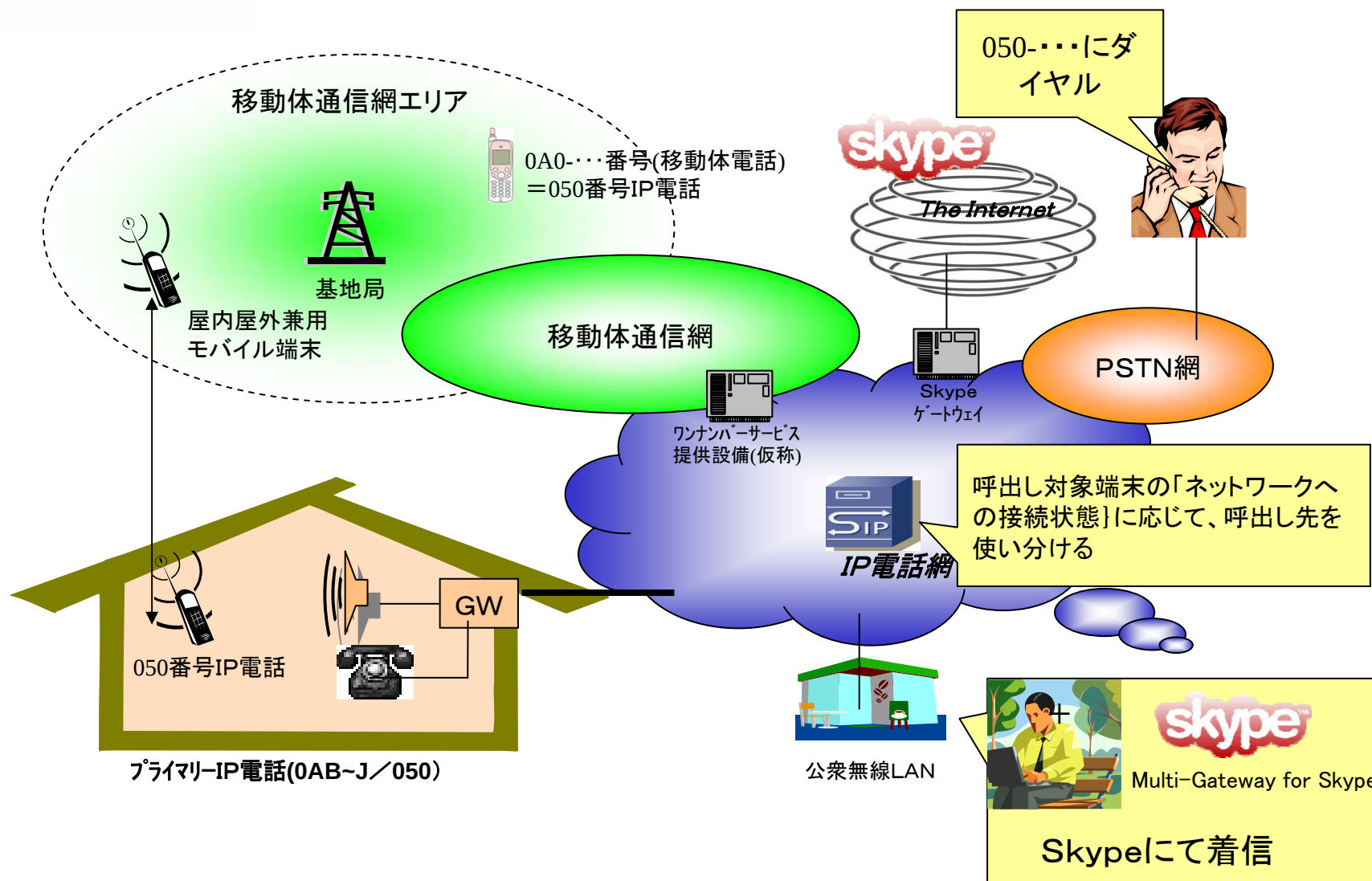


区分	光信号分岐端末回線	光信号主端末回線	光信号多重分離装置	光信号伝送装置	合計
接続料金	568円	4,987円	2,141円	3,798円	11,494円
収容可能最大数の場合の1ユーザー当たりの接続料金*	568円	624円 (最大8ユーザー)	67円 (最大32ユーザー)	119円 (最大32ユーザー)	1,378円

*回線管理運営費を除く

・接続事業者がNTT東西のGC局舎まで、伝送路を構築できれば、上記の料金でFTTHが利用可能となる。

FMCサービスのイメージ



ブロードバンドネットワーク上のコンテンツサービス

